

環境に係る情報協議会

国営総合農地防災事業 産土地区

1. 事業の概要（案）

【事業の目的】

本地区は、泥炭土に起因する地盤沈下の進行により、農業用排水路においては通水能力や必要河床高の不足による機能低下が生じており、農用地においては過湿被害、不陸障害及び埋木障害が発生していると同時に、降雨時には牧草の湛水被害が発生している。

このため、本事業では農業用排水路の改修並びに農用地の暗渠排水及び整地を行い、それらの機能を回復することにより、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土保全に資することを目的とする。

【主要工事の概要】

◆受益面積	◆主要工事	排水路12条 L=19.5km
2,330ha		暗渠排水、整地 A=2,330ha

2. 地域の環境に対する考え方 （天塩町田園環境整備マスタープランより）

【現 状】

・天塩町の基幹産業である農業は、気象・土地条件・自然生態系等を活かした物質循環を基本とするもので、他の産業と比較して自然からの恩恵を一番受けている。

【課 題】

・都市化や産業活動の進展及び生活様式の多様化により、地域内の豊かな自然環境が消失し、環境に負荷をかけている現状にある。

【環境保全の基本的考え方】

・自然環境・生態系・水辺環境の保全にも十分配慮し、地域にふさわしい水辺や農業用排水路の整備促進を目指す。

3. 環境との調和への配慮

【基本方針】

地域に現存する希少な動植物の生息・生育環境に十分配慮した排水路整備と農地保全工事を実施する。

【取組内容】

① 排水路における水辺環境の保全・再生

- ・魚類の生息環境に配慮した護岸工法を採用する。
- ・排水路の施工にあたっては、周辺植生に配慮し、周辺からの飛来種子による法面の植生回復を図る。

② 施工時における配慮（濁水処理）

- ・排水路工事や排水路付近の暗渠排水の実施の際には、濁水流出を減少させるため、濁水処理施設を設置する。

③ 施工時における配慮（沈砂池の設置及び水生植物の植栽）

- ・排水路終点部において、沈砂池の設置により土砂の流出抑制を図る。また、水質保全のため、関係機関との連携を図りつつ、大型の水生植物を植栽する。

④ 周辺牧草地との調和

- ・暗渠排水及び整地工の施工により、牧草地が有する美しい景観を回復する。